



電話での事務的な対応だけではなく、
直接顔を合わせてお話をすることができました。

事務職 税務部 資産税課

武智 久輝 (たけち ひさき)

平成26年度入庁

なぜ、倉敷市職員に？

私は市外出身者なのですが、幼少のころから倉敷市は何度も訪れたことがあり、私にとって身近な場所でした。

倉敷市で印象に残っているのはやはり美観地区などを初めとした観光資源であり、市の強みを生かしたまちづくりをしているなという思いを倉敷市に対して抱いていました。

もともと私は地域に根差した仕事をしたいと考えており、市役所の多岐にわたる仕事内容に対して魅力を感じていました。そこで、市外出身者である私の視点を今後の倉敷市の発展につなげられればと思い、倉敷市職員を志望しました。

現在担当している仕事内容は？



私が所属している資産税課では、固定資産である土地・家屋・償却資産を所有している方に対して課税をし、税額を記載した納税通知書を送付して税金を納めていただくという業務を行っています。固定資産税というあまり馴染みがないかもしれませんが、固定資産税は市税収入の半分近くを占める市の重要な財源となっています。

私は土地の課税業務を担当しており、毎年土地の現況確認を行ったうえで、土地の評価をしています。また、固定資産には3年に1度の評価替えというものがあり、評価替えの年には土地の評価をする上で必要な道路につけられた路線価と言われるものを現地確認したうえで見直ししています。自らの評価で税金が決定されるので、責任感を持って仕事に携わっています。

固定資産の評価は複雑であり、専門的な用語もあるため、入庁当初は苦勞しました。そこで、市民の方への課税説明の際は、難解な言葉を自分なりに簡単な言葉に置き変えたり、パンフレットを使用し、わかりやすい説明になるように心掛けました。最近では、ご説明させて頂いた際に、市民の方から感謝されることもあり嬉しく思います。

しかし、時にはお電話で市民の方から課税内容についてのご質問をいただくこともあり、ご説明させていただいてもご納得されない場合もあります。その場合には、現地で直接お話をさせていただくことでご理解いただけることが何度もありました。このことから電話での事務的な対応だけではなく、直接顔を合わせてお話をすることができました。

これからも土地の評価を適正に行うことは当然ですが、市民の方との対話を心掛けながら仕事に取り組んでいきたいです。

倉敷市職員になってよかったことは？

課税業務という責任のある仕事を担当することができ、やりがいをもって日々の業務に携わることができています。

また、私の所属している資産税課は人数も多く、活気のある職場で、仕事の疑問点や相談事を聞きやすい環境も整っているので、安心して仕事に取り組むことができています。

入庁して4年の間に頼りになる先輩や上司の方と出会うことができました。私もその方たちのように後輩の模範になりたいという意欲を持って仕事に取り組んでいます。人としても成長できる場所で働くことができ、よかったと思っています。



志望者に向けてメッセージ

市役所は私の担当する税金分野をはじめとして様々な部署があるため、幅広い知識や技術を習得できます。そしてそれぞれの部署の仕事は市民の生活に直接関係している、非常にやりがいのある仕事だと思います。市役所を目指している方の中には、「市役所ってどんな仕事をするのだろう？」と不安に思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、私たち職員が皆さんをフォローしますので、心配いりません。ぜひ皆さんと一緒に倉敷市役所で働くことを楽しみにしています。